

平成 22 年度第 9 回（93 回）

清瀬市まちづくり委員会議事要旨

日 時：平成 23 年 3 月 30 日（水）午前 9 時 30 分～11 時 30 分

場 所：コミュニティプラザひまわり 会議室 1

出席者：大森靖史、阿久津たか子、伊藤晃、佐藤隆史、原友里恵、小林倫子、
宮城敬子、中西宣長、増田恵美子、佐藤勝栄

事務局（企画部長、企画課長、市民協働係長、企画課主事）

欠席者：三木克子、加藤春芳、石川由紀子、島崎豊茂、大久保實、今瀬千佳子、
鈴木晃、齋藤徳次郎、円城寺修、神吉正代

<配布資料>

- 1 まちづくり提案審議 進行表

1 開 会

※本来開催日は 3 月 15 日だったものの、東北地方太平洋沖地震の関係で日程を
3 月 30 日に延期した。今回は審議を進めず、フォーラムについて話し合うこ
ととする。

2 前回の確認

委員長：前回議事について何か意見はあるか。

委 員：「円卓会議が広まった後の第二段階として」という部分があるが、第一
段階が何を指すのかこれを読んだだけでは市民は分からないと思う。
また、続く「こういう制度」という部分について、どういう制度なの
かはっきりさせた方がいいのではないか。

委員長：では「まず（第一段階として）円卓会議の取組みをさらに活性化させ
て」と、「第一段階として」という言葉を追加し、続く部分は「第二段
階として、（横のつながりを強化するという）言い方なら提言はありか

もしれない」としてよろしいか。

<了承>

3 平成23年5月開催のまちづくりフォーラムの内容について

委員長：「まちづくりリーダー制の導入と育成を」は提言することになったので、提言文をつくることになる。小委員会を立ち上げた方がよいか。

委員：特に必要ないのではないか。

委員長：では提言文はこちらで考えてくる。

副委員長：円卓会議という言葉を知らない人がいるから、提言文には説明する文章をいれるべきだ。

委員長：フォーラムのポスターの作成スケジュールはどうするか。

事務局：掲示期間の関係で次回委員会の4月19日までにはつくってほしい。

委員長：フォーラムの内容は2件ある提言の報告でよいか。

<了承>

委員長：では今回の報告の発表・資料づくりをしていただける方を決めたい。

<検討の結果、「清瀬市まちを美しくする条例」活性化」の資料作成は宮城委員・発表は佐藤（勝）委員が行い、「まちづくりリーダー制の導入と育成を」の資料作成・発表は大森委員長と小林委員が分担することに決定>

委員長：フォーラムの内容は去年と同様、審議内容と提言内容の報告とする。

委員：「まちを美しくする条例」の発表では、市の一斉清掃の写真などを入れた方がいいかもしれない。

事務局：当日の司会・進行はどうするか。

委員長：例年副委員長が行っているのので、できれば今年もお願いしたいがよろしいか。

<了承>

委員：フォーラムとは別の話になるが、今回は特に出席者が少ない。会議が成り立たなくなるので、事務局で対応を考えていただきたい。

委員：以前申し上げた、委員の任期の変更を行うべきだと思う。

事務局：委員の任期も含めて、まちづくり委員会自体の今後の在り方も検討していかなければならない。条例の改正も必要となってくる。

4 その他

次回会議は4月19日（火）コミュニティプラザ 会議室1にて開催する。